

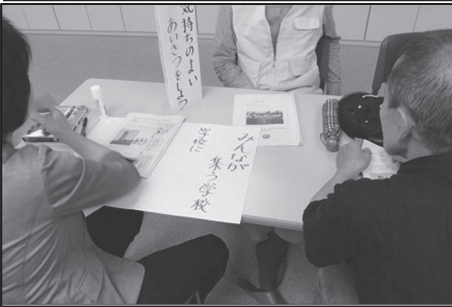
下関地域

・下関市



学校運営に係る取組

下関市立文関小学校



学校運営協議会において、子どもも大人も「行きたくなる学校」について熟議を行った。

下関市立名池小学校



保護者、児童のアンケート結果から、所属する部会に関わりのある課題を選び、熟議を実施した。

下関市立向井小学校



学校・家庭・地域が一緒になって、子どもたちの学校での服装のあり方について話し合った。

下関市立長府小学校



学校運営協議会委員と全教職員で熟議を行い、3つの部会に分かれ、それぞれのテーマに沿って、地域の方と全教職員が思いを語り合い、お互いを理解するよい機会となった。
 企画力部会：地域の方がもっと行きたくなる学校
 学力向上部会：子どもの学力向上のために学校ができること
 生活力向上部会：豊かな心を育むために学校ができること

下関市立滝部小学校



教職員の声を取りまとめ、学校支援に関するニーズを学校運営協議会の場で伝えたことにより、地域人材の活用について協議が深まり、特に学習場面における地域の方の支援を拡充することができた。

下関市立菊川中学校



学校運営協議会委員と全教職員が「知・徳・体」の3部会に分かれ、学校課題の共有や課題解決の方策について話し合った。

“つながり”を大切に

下関市教育委員会 山口CSコンダクター 白岡 勝典



普通、人が学ぶのは次の三つからだと言われています。「人から学ぶ、本から学ぶ、体験から学ぶ」の三つです。これは「地域とともにある学校」のめざす方向と完全に重なります。コミュニティ・スクールを推進することで、子どもたちは地域の様々な人々と関わりながら、多様な考え方や価値観、生き方に触れることができます。読み聞かせ等図書ボランティアの活躍で、教科書以外の本との出会いも確実に増えています。地域と連携した様々な体験活動を重ねていく中で、学びが充実し生きる力も育まれます。また、これは子どもたちだけでなく、子どもたちに関わることで「つながる」地域の大人や学校の教職員にも言えます。そして、CSコンダクターとしてそのお手伝いができることを嬉しく思っています。

学校支援に係る取組

下関市立名池小学校



「ふれあいウォークラリー」にボランティアとして地域の方に協力していただいた。

下関市立向井小学校



保護者や地域の方、警察署などに支援をしていただき、児童と一緒に校区内の危険箇所をチェックし、安全マップをつくった。

下関市立王喜小学校



本年度開設した「ひとみ文庫」の寄贈者の方に本に関するお話をいただき、今後の生活や夢への実現に生かす本の活用法を学んだ。

下関市立長府小学校



学校運営協議会で、子どもや保護者に伝統を受け継いでほしいという意見が出され、本年度から昼休みに下関市の伝統芸能の一つである「平家踊り」の教室を地域の指導者を招いて開催し、約50人の児童が楽しく笑顔で参加している。ふるさとを学ぶとてもよい機会となっている。

下関市立宇賀小学校



地域の方を指導者として招き、ミニ門松づくりを実施することで、伝統行事（文化）に触れる良い機会となった。

下関市立栗野小学校



月に1度開催する「わくわく教室」で地域の方々が、折り紙教室や読み聞かせを実施して下さった。

下関市立滝部小学校



地域の菊舎顕彰会会長さんを招き、低・中・高学年ごとに俳句教室を開催した。児童の作った句を添削しながら、俳句作りのポイントについて指導していただいた。

下関市立彦島中学校



地域の方に、技術・家庭科の裁縫や調理実習、ラジオ製作の授業に、支援をいただいている。作業がうまく進まない生徒にアドバイスをいただくことで、生徒の学習がスムーズに進むようになった。

下関市立夢が丘中学校



生徒が、昼休みに地域の学校支援ボランティアの方に読み聞かせを習い、認定こども園で読み聞かせを行った。（わくわく楽習スクール「よみっこ隊」）

地域貢献に係る取組

下関市立生野小学校



地域の盆踊りに、八朔太鼓保存会に所属する子どもたちが参加した。
日頃の練習の成果を披露し、盛大な祭りとなった。

下関市立長府小学校



5年生が、校区内にある介護老人保健施設「さくら寮」の運動会に参加し、ソーラン節を披露したり、入所者と一緒に玉入れをしたりした。入所者の皆さんにとっても、児童にとっても、楽しいひとときとなった。

下関市立阿川小学校



社会福祉協議会主催の「年末訪問」へ児童が参加し、地域の福祉員さんと一緒に一人暮らしのお年寄りにお手紙、果物、お餅などを届けた。

下関市立栗野小学校



児童が「栗野駅をいこいの場にプロジェクト」の一環として毎朝、毎週末にJR長門栗野駅の清掃活動を実施したり、児童の絵画作品や児童が作った壁新聞を掲示したりするなどして、地域の方々との交流を図っている。

下関市立川中中学校



管理職や教諭による地域住民を対象とした公開講座を開催した。
中学校の授業を体験してもらうことで、学校の様子を知ってもらう良い機会となっている。

下関市立吉見中学校



地域から依頼を受け、校区の無人駅を盛り上げるイベントに、生徒がボランティアとして参加した。

下関市立垢田中学校



地域の自治会主催による、「認知症高齢者徘徊声かけ模擬訓練」が行われ、10名の生徒が、地域の方と共に参加した。当日は、「認知症サポーター養成講座」等が行われた後、5グループに分かれ実際に町に出て、「認知症高齢者徘徊声かけ模擬訓練」を行った。

下関市立豊洋中学校



地域行事である「どんど焼き」を、地域の方と一緒に中学校を会場に行った。生徒にとっても地域行事に触れる良い機会となった。

下関市立夢が丘中学校



校区内にある国指定天然記念物「くすの森」で、生徒が観光客にボランティアガイドを行った。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

下関市立文関小学校、
養治小学校、日新中学校



地域のクリーン作戦に校区の児童・生徒が参加した。6年生は中学生と共に地域のゴミ拾いをした。小学校では親子で校内清掃活動をした。

下関市立関西小学校、桜山小学校、
神田小学校、文洋中学校



文洋中校区の小中学生が毎月11日の「市民安全安心の日」にあいさつ運動と地域のゴミを拾いながら登校する活動を行っている。

下関市立安岡小学校、
安岡中学校



小中学生が、地域の人と一緒に地区別集団下校を行った。小学生は、中学生や大人に見守られながら安全に下校ができた。

下関市立吉見小学校、吉母小学校、
蓋井小学校、吉見中学校



自衛隊、消防署、警察等と連携し、校区内の全園児・児童・生徒と地域の方の合同避難訓練を実施した。

下関市立王喜小学校、
吉田小学校、木屋川中学校



中学校区内の小中学校の住民・保護者・生徒会・全教職員が集まり、「心輝く子供たちを育てる」をテーマに熟議し、実践に向け協議した。

下関市立生野小学校、
山の田小学校、山の田中学校



中学校区3校合同の学校運営協議会により、3校に通学する児童生徒の保護者や地域住民の学校運営への参画促進や連携強化を進めている(にじいろネット協議会)。

下関市立長府小学校、長成中学校、
長府第二、三、四保育園



「長府東部まちづくり協議会」主催の「長府東部地区文化祭」に、校区にある三つの保育園と小・中学校が参加した。中学校はオープニングで吹奏楽部が演奏し、保育園の園児はダンスを披露し、小学校は合唱やリコーダーの演奏やソーランを地域の方に披露した。

下関市立豊東小学校、岡枝小学校、
檜崎小学校、菊川中学校



菊川中校区の子どもたちの説明力の向上に焦点をあてて、授業改善に取り組んだ。その一環として、学習指導案の検討を4校合同で行った。

下関市立豊田中小学校、西市小学校、
豊田下小学校、豊田中学校



義務教育9か年で付けさせたい力、身に付けてほしい態度(学習規律、生活規律、コミュニケーション能力)を、小中の教職員で共有するために、「豊田っ子スタンダードデザイン」を作成した。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

下関市立誠意小学校、
室津小学校、豊洋中学校



「スマホ・ケータイの安全な使用」について、小・中学校の教職員や地域の方が一緒になって、地域ぐるみの取組を協議した。

下関市立滝部小学校、神玉小学校、
角島小学校、神田小学校、阿川小学校、
豊北中学校



豊北地区あったかネット協議会の取組として、「夏休みの宿題手伝います講座」が開催された。算数、読書感想文等の教室に、児童が地域ボランティアの方や中学生、高校生の指導を受けた。

下関市立阿川小学校、神田小学校、
栗野小学校、豊北中学校



リオ・パラリンピック銀メダリスト道下美里選手教育懇話会を開催し近隣の小中学生、保護者、地域住民が共に学習をした。

下関市立向井小学校、くりのみ子供園、
下関短期大学附属第2幼稚園



5年生の子どもたちが、校区内の認定こども園、幼稚園を訪問し、園児たちと一緒に遊ぶなどの交流活動を行った。

下関市立宇賀小学校



児童が、地域の方々と一緒になって、ふるさとふれあいウオークに参加し、地域の自然や歴史、地域の方の優しさに触れることができた。

下関市立栗野小学校



JR長門栗野駅を1日限りの小さな美術館にして児童の絵を展示し、地域の方々を招待するイベントを開催したところ、多くの方が参加してくださった。児童が絵を通して地域の方々と語るコーナーでは、対話型の鑑賞学習で盛り上がった。

「コーディネーターとして」

長府地区ふるさと協育ネット「ほっちゃんや」 コーディネーター 馬場 加奈子



私は、「地域の子どもたちがより豊かな人間に成長して欲しい…」、その思いで平成20年から学校と地域を繋ぐ活動を続けてきました。地域協育ネット事業としての9年間で、学校支援のみならず、地域においても活動を幅広く展開することができ、子どもたちの教育の場は地域にも広がっています。

コーディネーターの役割は、学校と地域の各団体、人々をより適切により多く繋げ、より広いネットワークを作っていくことだと考えています。このことは、地域におけるネットワークづくりにもつながっていき、子ども達の誇れるまちづくりの一助にもなると思います。

これからも子どもを中心としたネットワークづくりに励み、強い絆で結ばれた活力ある温かい学校・家庭・地域づくりのために助力していきたいと思ひます。

